

人間環境学府行動システム専攻健康・スポーツ科学コース

凡例

科目区分	修士課程 必修科目	修士課程 選択科目	学府共通 科目	研究指導	博士課程 専攻授業
再掲は薄色で表示	修士課程 必修科目	修士課程 選択科目	学府共通 科目	研究指導	博士課程 専攻授業

学修目標			修士1年				修士2年				博士後期1・2・3年																																								
区分	修士課程	博士後期課程	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1	2	3																																						
D-1：実践	政府・地方公共団体、民間企業、教育機関等において、あるいは、これらとの連携により、健康・スポーツにかかる諸課題の解決を図ることができる	高等教育機関において、自立して研究・教育に携わることができる	健康・運動の疫学		運動適応学		修士論文作成	修士論文中間発表				博士論文作成																																							
			C-2：評価・創造	研究結果を考察し、明晰かつ説得力のある結論を導き出すことができる	自らの研究課題について、得られた研究結果を多角的に考察し、明晰かつ説得力のある、独創的な結論を導き出すことができる	運動心理学							運動処方論		運動心理学講究	スポーツ心理学講究	遊び・スポーツ文化学講究	運動適応学講究	運動栄養学講究	健康・運動の疫学講究	運動処方論講究	運動心理学講究	スポーツ心理学講究	遊び・スポーツ文化学講究	運動適応学講究	運動栄養学講究	健康・運動の疫学講究	運動処方論講究																							
C-1：適用・分析	調査・実験を遂行し、収集した研究データを解析することができる	自らの研究課題について、自立して調査・実験を完遂し、収集した研究データを高度な技法を駆使して解析することができる				健康・スポーツ科学演習							運動栄養学																運動心理学講究	スポーツ心理学講究	遊び・スポーツ文化学講究	運動適応学講究	運動栄養学講究	健康・運動の疫学講究	運動処方論講究																
						B-1：知識・理解							健康・スポーツ科学および関連する他学問領域での専門的な知識を有している	健康・スポーツ科学および関連する他学問領域での先端的な知識を有している																						健康・スポーツ科学特論		健康生成論		学際研究論	学際連携研究法										
																																				運動生理学		スポーツ社会学													
																																				A：主体性・協働	A-2：協働	他者と協働して、研究課題に取り組むことができる	指導的な立場で、研究課題に取り組むことができる			人間環境学		学際研究論							
																																										学際連携研究法		学際連携研究法							
																																				A-1：主体性	人間行動をめぐる研究課題に、自主的に取り組むことができる	自らの研究課題について、独創的な仮説を構築することができる	遊び・スポーツ文化学			スポーツ心理学		特別研究				博士論文指導演習			
																																							区分			修士課程	博士後期課程	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q